

令和2年度例題：障がい者を対象とした採用選考／教養（事務）

〔例題1〕 次のア～ウは、日本国憲法における人権に関する記述である。各記述中の下線部分の正誤をいずれも正しく示しているのはどれか。

- ア. 平等権は、全ての人が差別なく平等な扱いを受ける権利である。全て国民は法の下に平等であり、夫婦は同等の権利を有することなどが定められている。
- イ. 自由権は、国家のいきすぎた命令や強制から、個人の自由を保障する権利である。このうちの表現の自由は、思想・良心の自由と同様に、社会を発展させるために欠かせない権利とされ、公共の福祉を理由として制限することは許されない。
- ウ. 社会権は、国家に対して人間たるに値する生活を要求する権利である。このうちの生存権は、国民が健康で文化的な最低限度の生活を営む権利である。

- |    | ア | イ | ウ |
|----|---|---|---|
| 1. | 正 | 正 | 誤 |
| 2. | 正 | 誤 | 正 |
| 3. | 正 | 誤 | 誤 |
| 4. | 誤 | 正 | 正 |
| 5. | 誤 | 誤 | 正 |

〔正答2〕

〔例題2〕 3種類の飲物A, B, Cがある。値段の比はAとBが1 : 4, BとCが2 : 1であり, A, B, Cを1本ずつ買うと合計で560円になる。AとCの値段の差はいくらか。

1. 40円
2. 50円
3. 60円
4. 70円
5. 80円

〔正答5〕